

ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして、格別のご愛顧とご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、東日本大震災からの復興に向けた各種取組みをご理解いただくため、「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2016」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

さて、東日本大震災から早いもので5年が経過し、昨年後半から目に見える形で土地の高上げ、換地の終了による店舗・工場の再建、住宅新築等が加速し、平成28年度は新しい市街地形成の始まりの年であると感じております。

然しながら、5年の歳月は事業環境の変化、再建意欲の減退などによる廃業や、高齢化に伴う後継者問題、事業再開後の販路先や雇用の確保など、復興に伴う諸問題のほか、出生率の低下や若年層流出による人口減少、震災の風化に伴う観光客の減少懸念など、地域全体での課題が顕在化しております。

このような地域環境の中、当金庫は、これからも被災された方々の課題を的確に把握し、適切な支援ができるよう努めて参りますし、国が成長戦略の一つの柱として掲げる「地方創生」に対しましても、気仙沼市並びに気仙沼商工会議所と当金庫の三者で包括連携協定を締結したことを踏まえ、積極的に地域の活性化に寄与して参る所存でございます。

また、平成28年度は金庫創立90周年の記念すべき年に当たり、数々の周年記念事業を展開して参りますが、その一環として、懸案事項でありました本店の新築に着手し、平成29年3月のオープンを目指し現在建設を進めております。

新本店は当地復興のシンボルとして、また、地域の方々の希望となる事業と認識しており、これを機に更なる被災地支援、金融仲介機能の発揮に役職員一丸となり努めて参る所存でございますので、会員皆様には益々のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月

気仙沼信用金庫
理事長 菅原 務

